

2012年10月17日

49 鍵盤モデルは 3.8kg、61 鍵盤モデルは 4.8kg の軽さを実現

■ 最先端の音色をエレキギター並みの軽量・コンパクトなサイズに搭載
ヤマハ ミュージックシンセサイザー

MX49 / MX61

- スタジオやライブに気軽に持ち運べ、本格的な音楽制作システムにも対応、11月下旬発売 -

ヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市中区中沢町 10-1、社長：梅村 充）は、デジタル楽器の新製品として、ヤマハ ミュージックシンセサイザー『MX49』『MX61』を11月下旬から発売します。

<価格と発売日>

品名	品番	価格	発売日
ヤマハ ミュージックシンセサイザー	MX49	オープンプライス	11月下旬
	MX61	オープンプライス	

◎初年度販売予定数：合計 5,000 台

<製品の概要>

当社は、1974年に「SY-1」を発売以来、ステージでのライブパフォーマンスから音楽制作シーンに至るまで、さまざまなニーズに応えるシンセサイザーを発売しています。2001年にはフラッグシップシンセサイザーとして初代の「MOTIF（モチーフ）」を発売、2010年には「MOTIFシリーズ」の最新モデル「MOTIF XF」を発売、その優れた音色、演奏性、操作性は、世界中のアーティストに認められ、使用されています。



このたび発売する『MX49』『MX61』は、ピアノ、エレピ、オルガン、ストリングスといったバンドで定番のキーボードサウンドから最先端のシンセサイザーサウンドまで、フラッグシップシンセサイザー「MOTIFシリーズ」から即戦力となる1,000音色を内蔵しつつ軽量でコンパクトなサイズを実現したシンセサイザーです。特に49鍵盤モデルの『MX49』は3.8kgと一般的なエレキギター並みの軽さを実現しており、スタジオやライブ演奏に気軽に持ち運んで使用することができます。また、目的の音色を瞬時に選択できる使いやすいユーザーインターフェースを採用し、かんたんな操作も実現しています。さらに、USB Audio/MIDIインターフェース機能も搭載しており、音楽制作ソフトウェア「Cubase AI 6」も同梱していますので、ライブやリハーサルスタジオに持ち出して使うだけでなく、自宅でも作曲やアレンジといった音楽制作システムの中核として活躍します。

詳細は以下の通りです。

<主な特長>

1. 軽量・コンパクト、持ち運びしやすいデザイン

『MX49』は一般的なエレキギター並みの 3.8kg、
『MX61』は 4.8kg の軽さを実現しており、スタジオ
やライブ演奏に気軽に持って行けるよう、軽量かつ
奥行きが狭い持ちやすいデザインにしています。
『MX49』は、自宅の机の上やコンピューターの前に
置いても邪魔にならないスリムなデザインで、
『MX61』は、底面に手を引っ掛けられるくぼみをつ
けており、片手でも持ち運びしやすくなっています。



2. バンドで即戦力となる 1,000 音色を内蔵

リアルなアコースティックピアノ、往年のエレクトリックピアノ、迫力のあるオルガンといっ
たバンドで即戦力となるサウンドからシンセサイザーサウンド、ドラム音色まで、さまざまな
ジャンルに対応するハイクオリティなサウンドを楽しめます。フラッグシップシンセサイザー
「MOTIF シリーズ」から 1,000 以上の音色を厳選して収録しました。また、アルペジオを利用す
ることで、各楽器特有のフレーズの再現や、複雑なフレーズの再生が簡単にでき、幅広い音楽
表現を可能にしています。エフェクトには「VCM (Virtual Circuitry Modeling)」エフェクト
や高品位なリバーブ「REV-X」、マスターEQ など多彩なシステムを採用しており、「MOTIF シリー
ズ」を継承したプロレベルのサウンドを実現できます。

3. 簡単で使いやすいユーザーインターフェース

『MX49』『MX61』は目的の音色を簡単に選択できるなど、使いやすいユーザーインターフェ
ースを採用しています。楽器の種類や音のキャラクター別に分類された 16 個のカテゴリーボタン
を使用して音色の選択が可能です。また、2つのボイスを重ねて鳴らすレイヤー機能や、鍵盤の
音域によって分けて鳴らすスプリット機能をワンタッチで設定できます。さらに、4つのノブを
使うことで、全部で 12 種類の機能をリアルタイムにコントロールでき、シンセサイザーならで
はの音色のパフォーマンスも可能です。



4. リズムパターンやソングとのセッション機能

本体には複数のリズムパターンを内蔵しており、それらを再生することで、さまざまなジャンルのリズムパターンに合わせて演奏することができます。また、USB フラッシュメモリー上の MIDI データやオーディオデータを再生する機能を搭載しており、コンピューター上で作成したソングデータなどをライブ演奏で手軽に利用できます。さらに、AUX IN 端子に接続した携帯用音楽プレーヤーなどを再生させることで、好きな曲に合わせた演奏を気軽に楽しむことができます。

5. USB Audio/MIDI インターフェースを搭載、DAW ソフトウェアを使った音楽制作に対応

本体とコンピューターを USB ケーブル（別売）1 本で接続するだけで、MIDI データだけでなく本体のオーディオデータもコンピューター上の DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）ソフトウェアとやりとりすることができます。MIDI データの録音/再生に加え、本体で鳴っている音をそのまま DAW にオーディオ録音したり、本体の出力端子やヘッドホン端子から DAW ソフトウェアの音をモニターしたりすることもでき、さまざまな音楽制作に対応しています。DAW ソフトウェアとして、スタインバーク社「Cubase AI 6」を同梱しており、本体を「Cubase」に特化したコントローラーとして扱うことができます。また、「Cubase」との連携をより快適にする「MX49/MX61 Remote Tools」をインストールすることで、本体から「Cubase」のトランスポート操作や各種 VSTi（ソフトウェア音源）のパラメーターコントロールなどができるようになります。

さらに、バーチャルアナログソフトシンセ Steinberg「Prologue」、オルガンエミュレーター Yamaha「YC-3B」も付属し、本体のノブから直感的なパラメータ編集も可能です。

※ 各ソフトシンセは、当社ウェブサイトからのダウンロードになります。

<主な仕様>

鍵盤		MX49 : 49 鍵 (イニシャルタッチ)
		MX61 : 61 鍵 (イニシャルタッチ)
音源部	音源方式	AWM2
	最大同時発音数	128 音
	マルチティンバー数	内蔵音源 16 パート
	波形メモリー	166MB 相当 (16bit リニア換算)
	ボイス数	プリセット: 1106 ノーマルボイス+61 ドラムキット (GM: 128 ノーマルボイス+1 ドラムキット) ユーザー: 128 ノーマルボイス+8 ドラムキット
	パフォーマンス数	ユーザー: 128 音色 (16 パート)
	エフェクト	リバーブ×9 タイプ (42 プリセット)、 コーラス×17 タイプ (88 プリセット)、 インサージョン×48 タイプ (267 プリセット) ×4 系統、 マスターEQ (5 バンド)
シーケンサー部	シーケンスプレイ	SMF フォーマット 0 (再生のみ)
	テンポ (BPM)	5~300
	リズムパターン数	208 パターン
	ソング数	デモソング 27 曲
	アルペジオ	999 タイプ
その他	リモート対応ソフトウェア	<Windows>Cubase 6 以降、SONAR X1 Producer <Macintosh>Cubase 6 以降、Logic Pro 9、Digital Performer 7 ※ 各ソフトウェアの機能によって、リモートコントロールできる内容が異なります。
	主な操作子	ピッチベンドホイール×1、モジュレーションホイール×1、アサインアプノブ×4、[DATA]ダイアル×1
	ディスプレイ	3 桁 LED + 20×2 行キャラクターLCD (バックライト付)
	接続端子	OUTPUT [L/MONO]/[R] (標準フォーンジャック)、[PHONES] (ステレオ標準フォーンジャック)、[FOOT CONTROLLER]、[SUSTAIN]、MIDI [IN]/[OUT]、USB [TO HOST]/[TO DEVICE]、[AUX IN]、DC IN
	消費電力	9 W
	寸法・質量	MX49: 830 (W) x 298 (D) x 91 (H)mm、3.8kg MX61: 984 (W) x 299 (D) x 112 (H)mm、4.8kg
	付属品	電源アダプター (PA-150A)、保証書、取扱説明書、Online Manual CD-ROM×1 枚 (リファレンスマニュアル、シンセサイザーパラメーターマニュアル、データリスト収録)、DVD-ROM×1 枚 (付属 DAW ソフトウェア)





ヤマハ ミュージックシンセサイザー 『MX49』

オープンプライス

2012年11月下旬発売



ヤマハ ミュージックシンセサイザー 『MX61』

オープンプライス

2012年11月下旬発売

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 宣伝・ウェブコミュニケーショングループ 担当：木崎

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 お客様コミュニケーションセンター

シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口

〒430-8650 浜松市中区中沢町 10-1

TEL 053-460-1666